

群馬県立高崎北高等学校 中学校3年生対象学校説明会

校長：丸 橋 寛

令和元年8月6・7・8日

※高北Webページもご覧ください。

Takasaki Kita High School

高 高崎北高校から

群馬県初 ~創立四十周年~
進学重視型単位制高校

夢と感動のある体験を通し
君の「未来拓かん！」

国公立大学へ行こう！

2030年を見据えた新しい教育を推進します。

I 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)を重視した授業を推進します。

- ・「大学入試新テスト」に対応した思考力等を育てる授業を推進します。
- ・授業中は、ペアやグループで対話したり、発表したりする活動を重視します。
- ・プロジェクターなどのICT環境を整備し、積極的に活用します。

ペア・グループ学習 早朝・放課後自習室



平成29年度
末卒業生
主な合格先

II 学力向上・進路指導の充実

- ・国公立大学進学100名、難関大学合格を目指します。
- ・「大学合格ロードマップ」で大学合格を支援します。
- ・「難関大学合格プラン」を推進します。

国公立大学(66名) ※現浪含む
 大阪大(1) 筑波大(2) 首都大学東京(1)
 群馬大(18) 高経大(13)
 県民健康科学大(5) 県立女子大(4) 他

私立大学(334名) ※現浪含む
 慶応大(1) 青山学院大(1) 法政大(8)
 中央大(1) 共愛学園前橋国際大(16)
 健康福祉大(33) 他

III 探究型キャリア教育の充実

- ・総合的な探究の時間「あらかぎ探究プラン」を推進します。
- ・「ボランティア活動」「インターンシップ」「大学訪問」「テーマ研究」などで、様々な探究型学習を推進します。

あらかぎ祭(文化祭)



ボストン
語学研修

IV 国際交流の充実

- ・ボストン語学研修の実施
- ・台湾苑裡高級中学との交流会
- ・台湾修学旅行の実施

V 文武両道の推進

・学習と部活動・学校行事等

過去14年間の国公立大学合格者数の推移



高 新 しい 時 代 に 対 応 し た 学 校 づ く り



校長 丸橋 寛

校訓 未来を拓く

- 1 豊かな人間性を養い、高い知性・たくましい意欲・主体的な行動力を身につけ、自主自律の精神で未来を切り開いてゆこう。
- 2 夢と感動のある体験を通し輝く個性を磨き、21世紀を自立して生きてゆく人間となろう。

ビジョン
ミッション
方策

「未来を拓く人」を育てる高崎北高校をつくる。

生徒自ら「学びを創る学校」を目指す。

生徒自らが「学びを創り出せる授業・部活動・学校行事・クラス・委員会」を創る。

● 高北生に身に付けた資質・能力

- ①主体性 ②コミュニケーション能力 ③チャレンジ精神(行動力) ④探究心
⑤リーダーシップ ⑥継続力(レジリエンス) ⑦表現力(プレゼンテーション能力)
⑧自己肯定感 ⑨基本的な知識・技能

● 学校運営方針

「基本的生活習慣の確立」、「基礎・基本の徹底」、「生徒の安全と心のケア」を基本としつつ、「令和元年度重点目標」の実現を図ります。

①基本的生活習慣の確立

- あいさつ、清掃の励行、身だしなみを整える
- 早めの登校(早朝登校、早朝学習)
- 授業中の生徒指導(大きい声での始・終業時のあいさつ)

②基礎・基本の徹底

- 学習習慣の確立(予習、復習の徹底)
- 家庭学習時間の確保(1、2年でも3時間、3年部活引退後は6時間以上)
- 自習室の積極的な活用

③生徒の安全と心のケア

- 交通安全の推進(交通事故0)
- 健康管理推進
- 組織的な教育相談体制・家庭訪問等の充実

高崎北高校のあゆみ



トレーニングルーム

多目的教室棟

学校の沿革

- 昭和53年11月 1日 群馬県立高崎北高等学校として設立
- 昭和54年 4月 6日 第1回入学式挙行(6学級で発足)
- 昭和54年10月31日 開校・校舎落成記念式典挙行、校歌制定
- 昭和63年11月 1日 創立10周年記念式典挙行
- 平成10年11月 7日 創立20周年記念式典挙行
- 平成15年 4月 7日 単位制1期生(第25期生)入学
- 平成17年 4月 1日 文科省よりスーパーイングリッシュ校指定
- 平成18年 3月 1日 単位制1期生卒業
- 平成20年10月31日 創立30周年記念式典挙行
- 平成28年10月14日 台湾苑裡高級中学と姉妹校締結
- 平成30年11月22日 創立40周年記念式典挙行

令和元年度重点目標

1 「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業の充実

すべての年次及び授業で、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を重視した授業を推進します。

- ・新共通テストに対応した「思考力・判断力・表現力」を身に付けさせるための教科指導等の改善を推進します。
- ・ICT環境(プロジェクター、Wifi環境、タブレット等)を整備し、積極的に活用します。
- ・教科指導力の向上を図ります。(授業研究週間の設定、研究授業の開催、ステップアップサポート事業)
- ・授業の目標を明確にし、見通しを立てたり、振り返りたりする活動を重視します。(評価のルーブリック、振り返りシートの活用等)
- ・授業中は生徒同士で対話する機会を積極的につくり、他者の意見をよく聞き、尊重し、探究的な活動を通して深い学びにつなげます。

2 「カリキュラム・マネジメント」の視点の充実

「高崎北高校ランドデザイン2019」に基づき、生徒の主体性の育成を中心に、高北生に身に付けて欲しい資質・能力を、学校における全ての教育活動を通して育成します。その際、教科や学年の枠を越えて教科横断的な視点から育成することに留意します。

また、「企画会議」や「教員研修」等を活用し、学校におけるすべての教育活動について不断の見直しを図るとともに、「高崎北高校ランドデザイン2020」を2020年2月末までに完成し、次年度の取組につなげます。

3 「社会に開かれた教育課程」の充実

生徒が社会的課題を乗り越え、未来を切り拓いていくためには、学校が社会や世界と接点を持ちつつ、多様な人々とつながりを保ちながら学ぶことのできる、開かれた環境となることが不可欠です。

地域の教育力を活用するとともに、学校教育を学校内に閉じず、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させます。具体的には、

- ・地域の社会人や保護者、大学教授等、地域の教育力を積極的に活用します。(大学見学、模擬授業、講演会、ボランティア、インターンシップ、研究所訪問等)
- ・高北Webページなどにより、学校の取組や生徒の活躍の様子などを保護者や地域の方々に積極的に情報発信します。また、PTA活動の充実を図ります。
- ・学校評価を充実させるとともに、学校評議員等による外部評価を活用するなど、地域社会とのつながりを重視した学校づくりを推進します。

4 学力向上、進路指導の充実

- 国立大学100名、難関大学(北大、東北大など)合格を目指す。具体的には、
- ・大学合格ロードマップの活用
 - ・難関大学合格プランの充実(難関大セミナー、東北・筑波大オープンキャンパスツアー、難関大在学学生の話や聞く会、個別添削指導など)
 - ・主体的な学習の励行、学習会の開催、自習室の活用、課外学習、模試の活用
 - ・e-portfolioの活用。

5 3年間を見通したキャリア教育の充実

- 社会で活躍するために必要な資質・能力を育成するため、3年間を見通した探究型のキャリア教育を推進します。その際、自分の原点を見つめ、社会との接点を持ちつつ自らの問いを立て、探究活動を通して将来の職業につなげます。具体的には、
- ・総合的な探究の時間「あらかず探究プラン【新規】」の充実
 - ・1年次「自分を知る、学びを知る、社会を知る」(高北ナビ、未来の教室、ボランティス、インターンシップ、大学訪問など)
 - ・2年次「自ら学びたい『問い』を設定し、探究し、学びを発表する」(テーマ研究・発表、夢ナビ、コンクール・コンテスト参加、大学研究所訪問など)
 - ・3年次「自分を表現し『未来を拓く!』(小論文指導、面接指導など)
 - ・各教科における探究活動を推進する。(国語:読む力、論理的に書く力、数学:根拠に基づいた論理的表現力、英語:英語による即興力(「修学旅行で現地高校生と英語で質疑応答」)...)など)

6 国際交流の充実

- グローバル社会に対応した、国際感覚豊かな人材を育成します。具体的には、
- ・ポストン語学研修の実施(希望者)
 - ・香港研修の実施(希望者)
 - ・EZ Chatの活用
 - ・台湾苑裡高級中学との姉妹校交流(英語でのプレゼンテーション・交流を含む)
 - ・台湾修学旅行の実施
 - ・英検・Gtec等四技能テストの充実、スピーチコンテスト等への積極的参加

7 文武両道の推進

- 学習と部活動・生徒会活動等を両立させ、文武両道を推進し、人格の向上を目指します。
- ・部活動や生徒会活動等においては、短時間で集中した活動を心がけるとともに、生徒の主体性を尊重し、生徒自らが目標や活動方針・内容を互いに話し合い、協力しながら作成し、目標達成を目指します。
 - ・部活動等の大会で、上位入賞を目指します。

「未来を拓く」

校訓＝建学の精神に示された人間像

【教育目標（建学時）】

- 1 豊かな人間性を養い、高い知性・たくましい意欲・主体的な行動力を身につけ、自主自立の精神で未来を切り拓いてゆこう。
- 2 夢と感動のある体験を通し輝く個性を磨き21世紀を自立して生きてゆく人間となろう。



【沿革（学校の歩み）】

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| 昭和53年11月1日 | 群馬県立高崎北高等学校として設立 |
| 昭和54年4月6日 | 第1回入学式挙行（6学級で発足） |
| 昭和55年10月31日 | 開校・校舎落成記念式典挙行、校歌制定 |
| 昭和63年11月1日 | 創立10周年記念式典挙行 |
| 平成4年4月7日 | 普通科の中に「英語コース」設置 |
| 平成10年11月7日 | 創立10周年記念式典挙行 |
| 平成15年4月7日 | 単位制1期生（第25期生）入学 |
| 平成17年4月1日 | 文科省よりスーパーイングリッシュ校に指定（平成17-19年度） |
| 平成18年3月1日 | 単位制1期生卒業 |
| 平成20年10月31日 | 創立30周年記念式典挙行 |
| 平成30年 | カリキュラムマネジメントの観点から
育てたい資質・能力を見える化 |
| 平成31年4月1日 | あららぎ探究推進（キャリア）部設置 |

高崎北高等学校とは

「未来を拓く人」を 育てる高崎北高等学校

ビジョン＝学校が目指していく方向性・理想像

生徒自ら

「学びを創る」学校である

ミッション＝ビジョンを実現するための学校の役割・存在意義

高 新 しい 時 代 に 対 応 し た 学 校 づ く り



校長 丸橋 寛



校訓 未来を拓く

- 1 豊かな人間性を養い、高い知性・たくましい意欲・主体的な行動力を身につけ、自主自律の精神で未来を切り開いてゆこう。
- 2 夢と感動のある体験を通し輝く個性を磨き、21世紀を自立して生きてゆく人間となろう。

ビジョン 「未来を拓く人」を育てる高崎北高校をつくる。

ミッション 生徒自ら「学びを創る学校」を目指す。

方策 生徒自らが「学びを創り出せる授業・部活動・学校行事・クラス・委員会」を創る。

高北生に身に付けて欲しい資質・能力

- ①主体性 ②コミュニケーション能力 ③チャレンジ精神(行動力) ④探究心
⑤リーダーシップ ⑥継続力(レジリエンス) ⑦表現力(プレゼンテーション能力)
⑧自己肯定感 ⑨基本的な知識・技能

学校運営方針

「基本的生活習慣の確立」、「基礎・基本の徹底」、「生徒の安全と心のケア」を基本としつつ、「令和元年度重点目標」の実現を図ります。

①基本的生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> • あいさつ、清掃の励行、身だしなみを整える • 早めの登校(早朝登校、早朝学習) • 授業中の生徒指導(大きい声での始・終業時のあいさつ) 	②基礎・基本の徹底 <ul style="list-style-type: none"> • 学習習慣の確立(予習、復習の徹底) • 家庭学習時間の確保(1、2年でも3時間、3年部活引退後は6時間以上) • 自習室の積極的な活用 	③生徒の安全と心のケア <ul style="list-style-type: none"> • 交通安全の推進(交通事故0) • 健康管理推進 • 組織的な教育相談体制・家庭訪問等の充実
---	--	--

高崎北高校のあゆみ



トレーニングルーム 多目的教室棟

学校の沿革	群馬県立高崎北高等学校として設立
■ 昭和53年11月 1日	第1回入学式挙行(6学級で発足)
■ 昭和54年 4月 6日	開校・校舎落成記念式典挙行、校歌制定
■ 昭和54年10月31日	創立10周年記念式典挙行
■ 昭和63年11月 1日	創立20周年記念式典挙行
■ 平成10年11月 7日	創立20周年記念式典挙行
■ 平成15年 4月 7日	単位制1期生(第25期生)入学
■ 平成17年 4月 1日	文科省よりスーパーイングリッシュ校指定
■ 平成18年 3月 1日	単位制1期生卒業
■ 平成20年10月31日	創立30周年記念式典挙行
■ 平成28年10月14日	台湾苑裡高級中学と姉妹校締結
■ 平成30年11月22日	創立40周年記念式典挙行

令和元年度重点目標

1 「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業の充実

すべての年次及び授業で、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を重視した授業を推進します。

- ・新共通テストに対応した「思考力・判断力・表現力」を身に付けさせるための教科指導等の改善を推進します。
- ・ICT環境(プロジェクター、Wifi環境、タブレット等)を整備し、積極的に活用します。
- ・教科指導力の向上を図ります。(授業研究週間の設定、研究授業の開催、ステップアップサポート事業)
- ・授業の目標を明確にし、見通しを立てたり、振り返りする活動を重視します。(評価のルーブリック、振り返りシートの活用等)
- ・授業中は生徒同士で対話する機会を積極的にづくり、他者の意見をよく聞き、尊重し、探究的な活動を通して深い学びにつなげます。

2 「カリキュラム・マネジメント」の視点の充実

「高崎北高校ランドデザイン2019」に基づき、生徒の主体性の育成を中心に、高北生に身に付けて欲しい資質・能力を、学校における全ての教育活動を通して育成します。その際、教科や学年の枠を超えて教科横断的な視点から育成することに留意します。

また、「企画会議」や「教員研修」等を活用し、学校におけるすべての教育活動について不断の見直しを図るとともに、「高崎北高校ランドデザイン2020」を2020年2月末までに完成し、次年度の取組につなげます。

3 「社会に開かれた教育課程」の充実

生徒が社会的課題を乗り越え、未来を切り拓いていくためには、学校が社会や世界と接点を持ちつつ、多様な人々とつながりを保ちながら学ぶことのできる、開かれた環境となることが不可欠です。

地域の教育力を活用するとともに、学校教育を学校内に閉じず、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させます。具体的には、

- ・地域の社会人や保護者、大学教授等、地域の教育力を積極的に活用します。(大学見学、模擬授業、講演会、ボランティア、インターンシップ、研究所訪問等)
- ・高北Webページなどにより、学校の取組や生徒の活躍の様子などを保護者や地域の方々に積極的に情報発信します。また、PTA活動の充実を図ります。
- ・学校評価を充実させるとともに、学校評議員等による外部評価を活用するなど、地域社会とのつながりを重視した学校づくりを推進します。

4 学力向上、進路指導の充実

国立大学100名、難関大学(北大、東北大など)合格を目指します。具体的には、

- ・大学合格ロードマップの活用
- ・難関大学合格プランの充実(難関大セミナー、東北・筑波大オープンキャンパスツアー、難関大学在学生の話を聞く会、個別添削指導など)
- ・主体的な学習の励行、学習会の開催、自習室の活用、課外学習、模試の活用
- ・e-portfolioの活用。

5 3年間を見通したキャリア教育の充実

社会で活躍するために必要な資質・能力を育成するため、3年間を見通した探究型のキャリア教育を推進します。その際、自分の原点を見つめ、社会との接点を持ちつつ自らの問いを立て、探究活動を通して将来の職業につなげます。具体的には、

- ・総合的な探究の時間「あらざら探究プラン【新規】」の充実
- ・1年次「自分を知る、学びを知る、社会を知る」(高北ナビ、未来の教室、ボランティア、インターンシップ、大学訪問など)
- ・2年次「自ら学びたい『問い』を設定し、探究し、学びを発表する」(テーマ研究・発表、夢ナビ、コンクール・コンテスト参加、大学研究所訪問など)
- ・3年次「自分を表現し『未来を拓く!』(小論文指導、面接指導など)
- ・各教科における探究活動を推進する。(国語:読む力、論理的に書く力、数学:根拠に基づいた論理的表現力、英語:英語による即興力((修学旅行で現地高校生と英語で質疑応答)...)など)

6 国際交流の充実

グローバル社会に対応した、国際感覚豊かな人材を育成します。具体的には、

- ・ポストン語学研修の実施(希望者)
- ・香港研修の実施(希望者)
- ・EZ Chatの活用
- ・台湾苑裡高級中学との姉妹校交流(英語でのプレゼンテーション・交流を含む)
- ・台湾修学旅行の実施
- ・英検・Gtec等四技能テストの充実、スピーチコンテスト等への積極的参加

7 文武両道の推進

学習と部活動・生徒会活動等を両立させ、文武両道を推進し、人格の向上を目指します。

- ・部活動や生徒会活動等においては、短時間で集中した活動を心がけるとともに、生徒の主体性を尊重し、生徒自らが目標や活動方針・内容を互いに話し合い、協力しながら作成し、目標達成を目指します。
- ・部活動等の大会で、上位入賞を目指します。

高北生に 身に付けて欲しい資質・能力 2019

群馬県立高崎北高等学校グランドデザイン2019

① 主体性

② コミュニケーション
能力

③ チャレンジ精神
(行動力)

④ 探究心

⑤ リーダーシップ

⑥ 継続力(レジリエンス)

⑦ 表現力(プレゼンテーション能力)

⑧ 自己肯定感

⑨ 基本的な知識・技能

● 学校運営方針

「基本的生活習慣の確立」、「基礎・基本の徹底」、「生徒の安全と心のケア」を基本としつつ、「令和元年度重点目標」の実現を図ります。

① 基本的生活習慣の確立

- あいさつ、清掃の励行、身だしなみを整える
- 早めの登校（早朝登校、早朝学習）
- 授業中の生徒指導（大きい声での始・終業時のあいさつ）

② 基礎・基本の徹底

- 学習習慣の確立（予習、復習の徹底）
- 家庭学習時間の確保（1、2年でも3時間、3年部活引退後は6時間以上）
- 自習室の積極的な活用

③ 生徒の安全と心のケア

- 交通安全の推進（交通事故0）
- 健康管理推進
- 組織的な教育相談体制・家庭訪問等の充実

高崎北高校のあゆみ



トレーニングルーム



多目的教室棟

学校の沿革

- 昭和53年11月 1日 群馬県立高崎北高等学校として設立
- 昭和54年 4月 6日 第1回入学式挙行（6学級で発足）
- 昭和54年10月31日 開校・校舎落成記念式典挙行、校歌制定
- 昭和63年11月 1日 創立10周年記念式典挙行
- 平成10年11月 7日 創立20周年記念式典挙行
- 平成15年 4月 7日 単位制1期生（第25期生）入学
- 平成17年 4月 1日 文科省よりスーパーイングリッシュ校指定
- 平成18年 3月 1日 単位制1期生卒業
- 平成20年10月31日 創立30周年記念式典挙行
- 平成28年10月14日 台湾苑裡高級中學と姉妹校締結
- 平成30年11月22日 創立40周年記念式典挙行



校長 丸橋 覚

校訓 未来を拓く

- 1 豊かな人間性を養い、高い知性・たくましい意欲・主体的な行動力を身につけ、自主自律の精神で未来を切り開いてゆこう。
- 2 夢と感動のある体験を通し輝く個性を磨き、21世紀を自立して生きてゆく人間となろう。

ビジョン ミッション 方策

「未来を拓く人」を育てる高崎北高校をつくる。
生徒自ら「学びを創る学校」を目指す。
生徒自らが「学びを創り出せる授業・部活動・学校行事・クラス・委員会」を創る。

● 高北生に身に付けて欲しい資質・能力

- ①主体性 ②コミュニケーション能力 ③チャレンジ精神(行動力) ④探究心
⑤リーダーシップ ⑥継続力(レジリエンス) ⑦表現力(プレゼンテーション能力)
⑧自己肯定感 ⑨基本的な知識・技能

● 学校運営方針

「基本的生活習慣の確立」、「基礎・基本の徹底」、「生徒の安全と心のケア」を基本としつつ、「令和元年度重点目標」の実現を図ります。

①基本的生活習慣の確立

- あいさつ、清掃の励行、身だしなみを整える
- 早めの登校(早期登校、早期学習)
- 授業中の生徒指導(大きい声での始・終業時のあいさつ)

②基礎・基本の徹底

- 学習習慣の確立(予習、復習の徹底)
- 家庭学習時間の確保(1、2年でも3時間、3年部活引退後は6時間以上)
- 自習室の積極的な活用

③生徒の安全と心のケア

- 交通安全の推進(交通事故0)
- 健康管理推進
- 組織的な教育相談体制・家庭訪問等の充実

高崎北高校のあゆみ



トレーニングルーム



多目的教室棟

- 学校の沿革
- 昭和53年11月 1日 群馬県立高崎北高等学校として設立
 - 昭和54年 4月 6日 第1回入学式挙行(6学級で発足)
 - 昭和54年10月31日 開校・校友会落成記念式典挙行、校歌制定
 - 昭和63年11月 1日 創立10周年記念式典挙行
 - 平成10年 11月 7日 創立20周年記念式典挙行
 - 平成15年 4月 7日 単位制1期生(第25期生)入学
 - 平成17年 4月 1日 文科省よりスーパーイングリッシュ校指定
 - 平成18年 3月 1日 単位制1期生卒業
 - 平成20年10月31日 創立30周年記念式典挙行
 - 平成28年10月14日 台湾苑裡高級中學と姉妹校締結
 - 平成30年11月22日 創立40周年記念式典挙行

令和元年度重点目標

1 「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業の充実

すべての年次及び授業で、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を重視した授業を推進します。
・新共通テストに対応した「思考力・判断力・表現力」を身に付けさせるための教科指導等の改善を推進します。
・ICT環境(プロジェクター、WiFi環境、タブレット等)を整備し、積極的に活用します。
・教科指導力の向上を図ります。(授業研究週間の設定、研究授業の開催、ステップアップサポート事業)
・授業の目標を明確にし、見通しを立てたり、振り返ったりする活動を重視します。(評価のルーブリック、振り返りシートの活用等)
・授業中は生徒同士で対話する機会を積極的に作り、他者の意見をよく聞き、尊重し、探究的な活動を通して深い学びにつなげます。

2 「カリキュラム・マネジメント」の視点の充実

「高崎北高校ランドデザイン2019」に基づき、生徒の主体性の育成を中心に、高北生に身に付けて欲しい資質・能力を、学校における全ての教育活動を通して育成します。その際、教科や学年の枠を越えて教科横断的な視点から育成することに留意します。
また、「企画会議」や「教員研修」等を活用し、学校におけるすべての教育活動について不断の見直しを図るとともに、「高崎北高校ランドデザイン2020」を2020年2月末までに完成し、次年度の取組につなげます。

3 「社会に開かれた教育課程」の充実

生徒が社会的課題を乗り越え、未来を切り拓いていくためには、学校が社会や世界と接点を持ちつつ、多様な人々とつながりを保ちながら学ぶことのできる、開かれた環境になることが不可欠です。
地域の教育力を活用するとともに、学校教育を学校内に留めず、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現します。具体的には、
・地域社会人や保護者、大学教授等、地域の教育力を積極的に活用します。(大学見学、模擬授業、講演会、ボランティア、インターンシップ、研究所訪問等)
・高北Webマガジンなどにより、学校の取組や生徒の活躍の様子などを保護者や地域の方々積極的に情報発信します。また、PTA活動の充実を図ります。
・学校評価を充実させるとともに、学校評議員等による外部評価を活用するなど、地域社会とのつながりを重視した学校づくりを推進します。

4 学力向上、進路指導の充実

国立大学100名、難関大学(北大、東北大など)合格を目指します。具体的には、
・大学合格ロードマップの活用
・難関大学合格プランの充実(難関大セミナー、東北・筑波大オープンキャンパスツアー、難関大学在学時の話を聞く会、個別添削指導など)
・主体的な学習の励行、学習会の開催、自習室の活用、課外学習、模試の活用
・e-portfolioの活用。

5 3年間を見通したキャリア教育の充実

社会で活躍するために必要な資質・能力を育成するため、3年間を見通した探究型のキャリア教育を推進します。その際、自分の原点を見つめ、社会との接点を持ちつつ自らの問いを立て、探究活動を通して将来の職業につなげます。具体的には、
・総合的な探究の時間「あらざ探究プラン【新規】」の充実
・1年次「自分を知る、学びを知る、社会を知る」(高北ナビ、未来の教室、ボランティア、インターンシップ、大学訪問など)
・2年次「自ら学びたい『問い』を設定し、探究し、学びを発表する」(テーマ研究・発表、夢ナビ、コンクール・コンテスト参加、大学研究所訪問など)
・3年次「自分を表現し『未来を拓く!』」(小論文指導、面接指導など)
・各教科における探究活動を推進する。(国語:読む力、論理的に書く力、数学:根拠に基づいた論理的表現力、英語:英語による即興力(修学旅行で現地高校生と英語で質疑応答)…)など

6 国際交流の充実

グローバル社会に対応した、国際感覚豊かな人材を育成します。具体的には、
・ポストン語学研修の実施(希望者)
・香港研修の実施(希望者)
・EZ Chatの活用
・台湾苑裡高級中學との姉妹校交流(英語でのプレゼンテーション・交流を含む)
・台湾修学旅行の実施
・英検・Gtec等四技能テストの充実、スピーチコンテスト等への積極的参加

7 文武両道の推進

学習と部活動・生徒会活動等を両立させ、文武両道を推進し、人格の向上を目指します。
・部活動や生徒会活動等において、短時間で集中した活動を心がけるとともに、生徒の主体性を尊重し、生徒自らが目標や活動方針・内容を互いに話し合い、協力しながら作成し、目標達成を目指します。
・部活動等の大会で上位入賞を目指します。

Takasaki Kita High School

高 高崎北高校から

群馬県初 ~創立四十周年~

進学重視型単位制高校

夢と感動のある体験を通し
君の「未来拓かん！」

国公立大学へ行こう！

2030年を見据えた新しい教育を推進します。

1. 主体的・対話的で深い学び

(アクティブ・ラーニング)を重視した授業の充実

4. 学力向上・進路指導の充実

5. 探究型キャリア教育の推進

6. 国際交流の充実

7. 文武両道の推進

1. 主体的・対話的で深い学び

(アクティブ・ラーニング)を重視した授業の充実

先生による**一方通行の授業**から、
生徒自身が**主体的に参加する**
授業・学習へ

新テストに対応した思考力等を
育てる授業を推進しています。

- ・ペア学習
- ・発見学習
- ・ディベート
- ・グループ学習
- ・問題解決学習
- ・グループディスカッション^{など}

1. 主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング)を重視した授業の充実

ICTの活用



1. 主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング)を重視した授業の充実

ホワイトボードの活用



つづいて...

4. 学力向上・進路指導の充実

4. 学力向上・進路指導の充実

高崎北高校「難関大学合格プラン」

➤ 国公立大学進学100名を目指す。

☞ 「大学合格ロードマップ」

➤ 難関大学（北大、東北大等）合格を目指す。

☞ 「難関大学合格プラン」

4. 学力向上・進路指導の充実

高北「難関大学合格プラン」

東北大学オープンキャンパスツアー &
被災地見学開催(保護者も参観) 7月30・31日



東北大学オープンキャンパスツアー開催

7月30・31日

「難関大学合格プラン」



4. 学力向上・進路指導の充実

「難関大学合格プラン」

高崎北高校「難関大学合格プラン」
難関大学在学学生の話进行こう！（理系欄）
東北大生の話进行こう！
平成27年9月25日（火）
10:00～13:00
場所：ゼミ8・9室

齋藤天道さん（高崎高校 平成27年度卒業）
・東北大学農学部2年在学 ・東北大学群馬県人会 会長



次に・・・

5. 探究型キャリア教育の充実 **（3年間を見通したキャリア教育の充実）**

5. 探究型キャリア教育の充実

2019年度より、新しく「総合的な探究の時間」が始まります。

群馬県立高崎北高等学校 あららぎ「探究」プラン2019

校訓

未来を拓く

「あららぎ探究プラン」は、「未来を拓く人」を育てるプログラムです。様々な活動を通して、自ら探究し、「学びを創り出せる」高北生を目指します。

探究活動：「与えられた問い」を解決するのではなく、「自ら学びたい問いを立て、解決を目指す」

各教科等(適年)：

国語科：岩波ブックレット等を活用して、読む力、論理的に書く力を身に付けます。
 数学科：授業中に生徒が説明するなどして、根拠に基づいた論理的表現力を身に付けます。
 理科：探究活動で理地高校生等と英語で質疑応答ができるよう、英語による即興力を育成する。

社会科：NIE、主権者・租税教育など
 理科：各種コンテスト等への参加など

1年次：自分を知る。学び(大学・学問)を知る。社会を知る

- ①新入生オリエンテーション ②人間関係づくり ③未来の教室(社会人講師)
- ④ボランティア活動 ⑤大学オープンキャンパス ⑥インターンシップ
- ⑦大学訪問 ⑧テーマ研究(テーマ決定)等
- ⑨高北ナビ ⑩中間ポスターセッション ⑪最終ポスターセッション ⑫最終発表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
②人間関係づくり・クラス目標 ⑨高北ナビ発表会(1年1・2)	⑨未来の教室(振り返り・発表) ⑩自己振り返り(マインドマップ)	⑩未来の教室(振り返り・発表) ⑪外部機関訪問(事前学習1)	⑪外部機関訪問(事前学習2) ⑫外部機関訪問(事前学習3)	⑫外部機関訪問(事前学習4) ⑬ポランティア活動	⑬外部機関訪問(振り返り) ⑭外部機関訪問(事前学習1)	⑭外部機関訪問(事前学習2) ⑮外部機関訪問(事前学習3)	⑮外部機関訪問(事前学習4) ⑯インターンシップ(全員)	⑯外部機関訪問(まとめ発表) ⑰インターンシップ(振り返り)	⑰外部機関訪問(まとめ発表) ⑱インターンシップ(振り返り)	⑱外部機関訪問(まとめ発表) ⑲テーマ研究(テーマ検討1)	⑲外部機関訪問(まとめ発表) ⑳テーマ研究(テーマ検討2)	⑲外部機関訪問(まとめ発表) ㉑テーマ研究(テーマ検討3)

2年次：自ら学びたい「問い」を設定し、探究し、発表する

- ⑩高北ナビ ⑩テーマ研究(外部評価Ⅰ)
- ⑪テーマ研究(中間ポスターセッション)
- ⑫海外修学旅行(英語プレゼン・疑応答)
- ⑬研究室訪問
- ⑭テーマ研究(外部評価Ⅱ)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
⑩高北ナビ(事前学習3)	⑩探究オリエンテーション ⑨高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)	⑩高北ナビ発表会(1年1・2) ⑩高北ナビ発表会(1年1・2)

3年次：自分を表現し、「未来を拓く」。

- ⑰テーマ研究(公開ポスターセッション)
- ⑱小論文研究

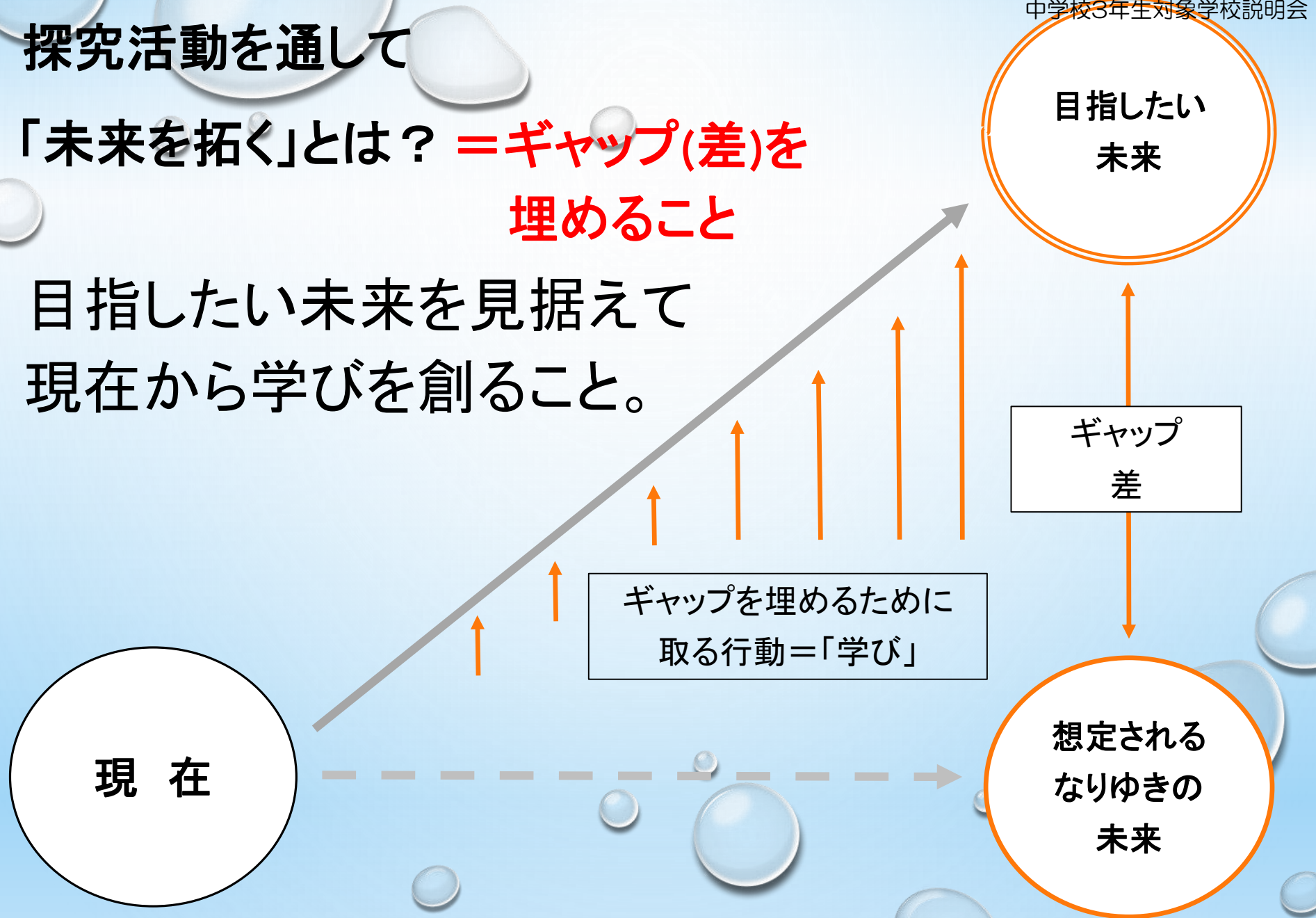
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
⑱小論文研究1	⑱小論文研究2	⑱小論文研究3	⑱小論文研究4	⑱小論文研究5	⑱小論文研究6	⑱小論文研究7	⑱小論文研究8	⑱小論文研究9	⑱小論文研究10	⑱小論文研究11	⑱小論文研究12	⑱小論文研究13

《テーマ研究で探究を行うということ》
 京都市立堀川高校や茨城県立並木中等教育学校を始め、多くの高校等で探究活動の取組が始まっています。皆さんが、これからの変化の激しい日本の社会を生き抜くためには、与えられた問題を解決する力だけでなく、自分から問題を見付け出し(自ら「問い」を立て)解決していく主体的な問題解決力を身に付けることが求められています。高崎北高校の3年間で、自分の原点(最も興味のあること)を探り、社会との接点を持ちながら探究することで、自分の原点を将来の職業につなげることを目指します。探究活動を行うことで、あんな人になりたいという気持ちを高める(心に火を灯す)ことで、結果的に皆さん一人一人の「未来を拓く」ことにつながると確信していま

探究活動を通して

「未来を拓く」とは？ = **ギャップ(差)を埋めること**

目指したい未来を見据えて
現在から学びを創ること。

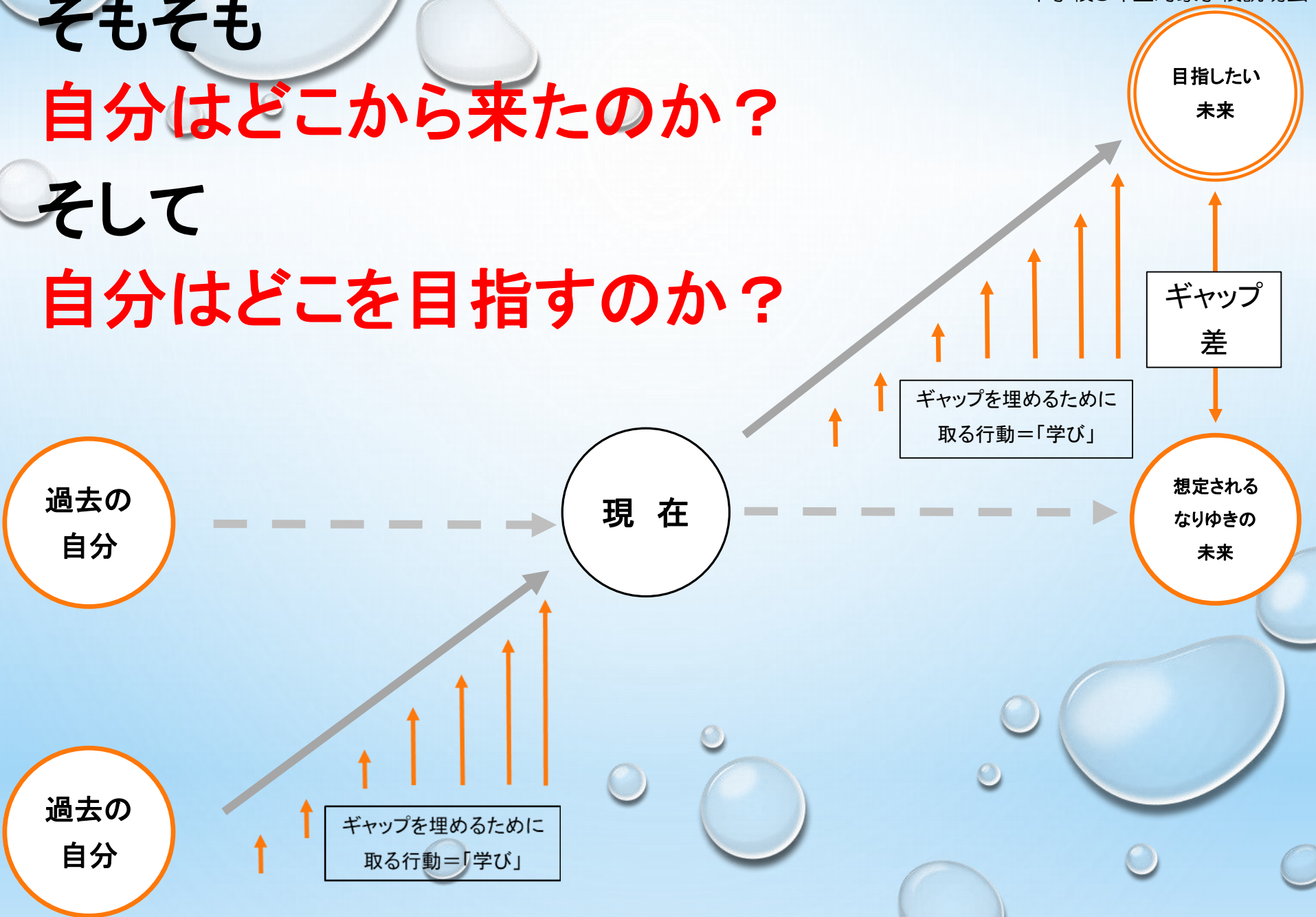


そもそも

自分はどこから来たのか？

そして

自分はどこを目指すのか？



探究活動とは？

自分の原点(最も興味のあること)

を探り...

将来の職業につなげること



探究活動とは？

自分の原点(最も興味のあること)

を探り...

将来の職業につなげること

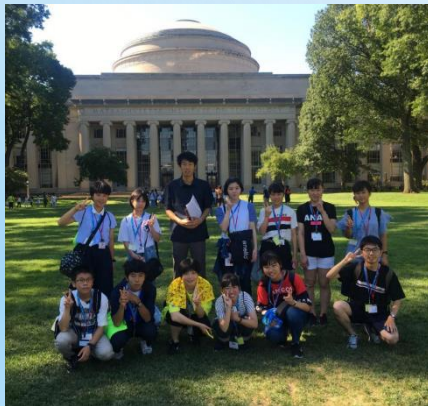


高崎北高校には 原点のきっかけがたくさんある



■学校内での活動

- 日々の授業
- 部活動
- テーマ研究
- 進学ロードマップ
- クラス・学校行事
- 委員会活動
- 友達・仲間との関わり
- 等々



■学校外での活動

- コンクール・大会
- インターンシップ
- 大学・研究所訪問
- 大学生・社会人との交流
- コンテスト・発表会
- ボランティア活動
- 国際交流・修学旅行
- 等々

次に・・・

6. 国際交流の充実

6. 国際交流の充実

ボストン
語学研修

令和元年7月7日～15日(9日間)希望者40名参加

台湾高校生との姉妹校交流会

台湾修学旅行



最後に・・・

7. 文武両道の推進

7. 文武両道の推進

高部活動

充実の課外活動。
それが活力の源となる！

運動部

バスケットボール（男子）
バスケットボール（女子）
バレーボール（男子）
バレーボール（女子）
ソフトテニス（男子）
ソフトテニス（女子）
サッカー（男子）
硬式野球（男子）
ソフトボール（男子）
ソフトボール（女子）
剣道（男女）
弓道（男女）
陸上競技（男女）
バドミントン（女子）
卓球

文化部

理科
英語
弦楽
吹奏楽
美術
パソコン
文芸
J R C
茶華道
演劇

同好会

水泳
写真

■ 平成30年度高北生の活躍

★女子ソフトテニス部

- 県高校総体 団体 第4位
- 県高校総体 個人 ベスト8
- 関東大会 個人 出場
- インターハイ予選 団体 ベスト8
- 夏季大会 団体 ベスト8
- 夏季大会 団体 ベスト8
- 新人戦 団体 ベスト8
- 新人戦 個人 ベスト8

★女子バレーボール部

- 新人戦 ベスト8

★弓道部

- 春季大会 男子個人 第4位
- 関東大会 男子個人 出場
- 新人大会 男子団体 第4位
- 東日本大会県予選 男子団体 第3位
- 東日本大会 男子団体 出場

★陸上競技部

- 新人大会 女子4×100mリレー 第6位
- 国体県予選 女子少年B走幅跳 第6位・第8位
- 強化大会 男子1年の部400m 第6位
- 強化大会 女子1年の部100m 第8位
- 強化大会 女子1年の部200m 第7位



7. 文武両道の推進

部活動紹介 ~ 充実の課外活動。それが活力の源となる! ~

運動部

陸上競技 (男女)
男子バスケットボール
女子バスケットボール
男子バレーボール
女子バレーボール
男子ソフトテニス
女子ソフトテニス
サッカー (男子)
硬式野球 (男子)
男子ソフトボール
女子ソフトボール
剣道 (男女)
弓道 (男女)
バドミントン (女子)
卓球 (男女)

文化部

理科
英語
弦楽
吹奏楽
美術
演劇
茶華道
パソコン
文芸
JRC

同好会

写真
水泳



